



令和6年度 ふくしま情報モラル診断 の実施結果について

福島県 / 福島県教育委員会 / 福島県警察

この事業は、国内外からお寄せいただいた寄附金をもとに造成された「福島県東日本大震災子ども支援基金」により実施しています。

～ ふくしま情報モラル診断について ～

ふくしま情報モラル診断は、こどものインターネットの利用に関する基礎知識の習得度合いや利用状況を把握し、その向上と改善を目的に実施したものです。インターネットの利用状況を調査する『アンケート』とインターネットを活用するための理解度を確認する『診断問題』で構成されています。

【アンケート】

小学生 1、2 年 6 問 小学生 3 年～高校生 7 問

保護者（小学生 1、2 年） 4 問 保護者（小学生 3 年～高校生） 3 問

※ スマートフォンの所持率やインターネットの利用状況、フィルタリング率などを調査します。

【診断問題】

小学生 1、2 年 6 問 小学生 3、4 年 10 問 小学生 5、6 年 10 問

中学生 15 問 高校生 15 問 保護者 10 問

- ・ 小学生・中学生（保護者も含む）用の問題は、学期毎に内容を入れ替えて出題（1 学期は基礎的な問題）
- ・ 高校生（保護者も含む）用の問題は、通年で同じ内容を出題
- ・ 診断問題は、福島県HPで公開しています。

※文部科学省の「情報モラル指導モデルカリキュラム表」が示す指導内容の5分類（情報社会の倫理、法の理解と遵守、安全への知恵、情報セキュリティ、公共的なネットワーク社会の構築）により診断問題を作成しており、児童生徒が各段階で身につけておくことが望ましいとされる内容となっています。

福島県では、福島未来を担うこども達が、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身に付け、ICTを活用して問題解決できる能力を伸ばし、夢や希望をもって活躍できることを応援しています。

～ふくしま情報モラル診断の合言葉は、「みんなで！」～

- 教員も、児童生徒も、保護者も、県民も、ふくしまみんなが参加できるシステムです。
- イラストとタップ操作の楽しさで、こどもから大人まで、繰り返しチャレンジしたくなるシステムです。

【令和6年度調査状況】

- ・ 県内小中学校、高校、特別支援学校 377校が調査に参加

内訳	小学校	225校
	中学校	119校
	義務教育学校	4校
	高等学校	17校
	特別支援学校	12校

計377校

- ・ 参加児童生徒数など

内訳	小学生	36,680人
	中学生	21,017人
	高校生	3,549人
	保護者	36,701人

児童生徒計61,246人



留意点

- 本調査は福島県内の小中学生、高校生を対象として実施した「ふくしま情報モラル診断」の実施結果である。
- 小学校1年生から高校3年生までを児童生徒と表記する。
- nは質問に対する回答数で、100%が何人の回答に相当するかを示す基数である。
- 結果数値(%)は1%未満を四捨五入しているので、内訳の合計が100%にならないことがある。

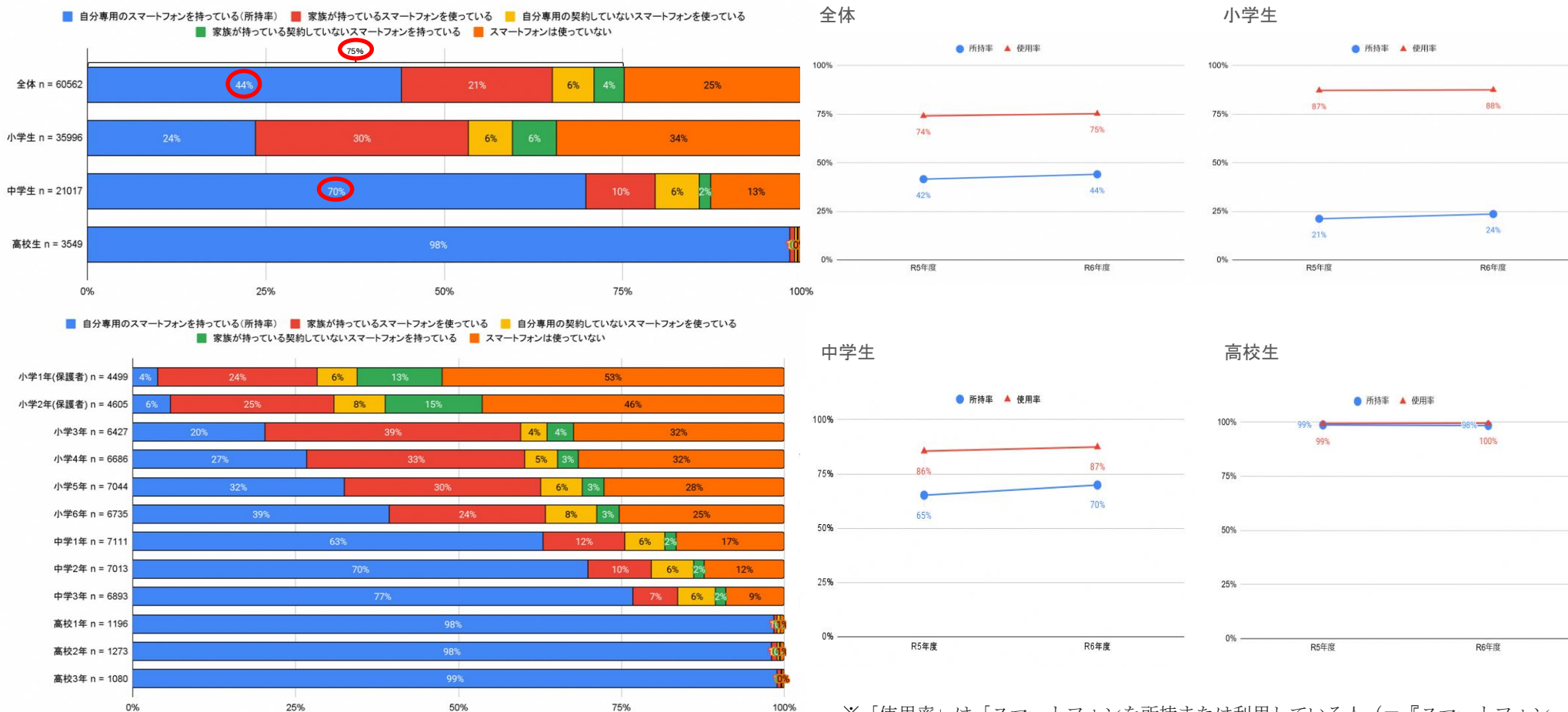
目次

1. スマートフォンの使用状況（所持率）
2. インターネットの利用状況（利用内容）
3. インターネットの利用状況（勉強以外での利用時間）
4. インターネットの利用状況（勉強での利用時間）
5. フィルタリングの利用状況（保護者回答）
6. インターネットの利用に関する家庭のルールの有無
7. インターネットによるトラブルの有無
8. 診断問題平均正答率
9. 【参考資料】診断問題で正答率が1番悪かった問題

1. スマートフォンの使用状況（所持率）

- こどもの**44%**が、自分専用のスマートフォンを所持している。
- こどもの**75%**が、スマートフォンを使っている。←「スマートフォンを使っていない」以外。
- 中学生の自分専用のスマートフォン所持率が増加（令和5年**65%**→令和6年**70%**）。

問1 あなたはスマートフォン（携帯電話を含まない）を使っていますか？



※小学1年生、小学2年生は保護者が回答
小学3年生から高校3年生までは児童生徒が回答

※「使用率」は「スマートフォンを所持または利用している人（＝『スマートフォンは使っていない』と回答しなかった人）」の割合

2. インターネットの利用状況（利用内容）

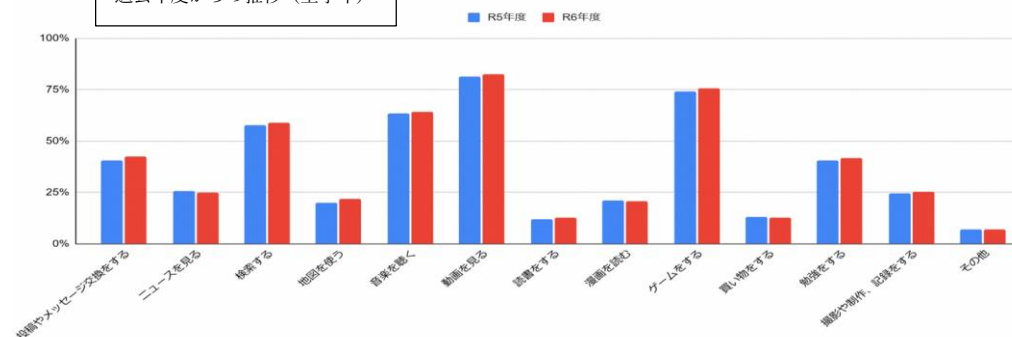
- こどものインターネット利用内容の内訳は、
 小学生では、動画を見る（**75%**）、ゲームをする（**74%**）が上位。勉強をするのは**37%**。
 中学生では、動画を見る（**93%**）、音楽を聴く（**85%**）が上位。勉強をするのは**49%**。
 高校生では、動画を見る（**96%**）、音楽を聴く（**94%**）が上位。勉強をするのは**48%**。

問2 あなたはインターネットを使って何をしていますか？（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）

	投稿やメッセージ交換をする	ニュースを見る	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	漫画を読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
小学生 n=36680	21%	18%	42%	12%	49%	75%	12%	11%	74%	7%	37%	20%	8%
中学生 n=21017	72%	35%	83%	35%	85%	93%	13%	33%	78%	16%	49%	32%	6%
高校生 n=3549	88%	43%	85%	54%	94%	96%	17%	51%	81%	54%	48%	42%	6%

	投稿やメッセージ交換をする	ニュースを見る	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	漫画を読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
小学1年生 n=4641	7%	20%	21%	9%	37%	66%	19%	11%	62%	12%	51%	32%	7%
小学2年生 n=5147	8%	25%	30%	13%	46%	71%	24%	13%	71%	13%	56%	34%	8%
小学3年生 n=6427	12%	14%	27%	9%	38%	69%	11%	7%	70%	5%	30%	10%	10%
小学4年生 n=6686	20%	13%	44%	10%	45%	75%	8%	7%	75%	3%	29%	13%	8%
小学5年生 n=7044	30%	15%	54%	12%	57%	81%	8%	10%	79%	4%	31%	17%	7%
小学6年生 n=6735	41%	21%	67%	16%	68%	86%	9%	16%	81%	5%	34%	21%	6%
中学1年生 n=7111	72%	34%	83%	33%	86%	92%	13%	35%	78%	16%	46%	31%	6%
中学2年生 n=7013	73%	34%	84%	34%	87%	94%	13%	35%	80%	16%	46%	32%	6%
中学3年生 n=6893	80%	45%	88%	45%	91%	95%	17%	41%	76%	23%	58%	37%	6%
高校1年生 n=1196	88%	40%	87%	50%	94%	96%	16%	49%	84%	43%	50%	39%	6%
高校2年生 n=1273	88%	42%	85%	53%	95%	96%	17%	50%	79%	56%	48%	42%	5%
高校3年生 n=1080	86%	47%	84%	61%	94%	96%	19%	55%	80%	65%	47%	44%	6%

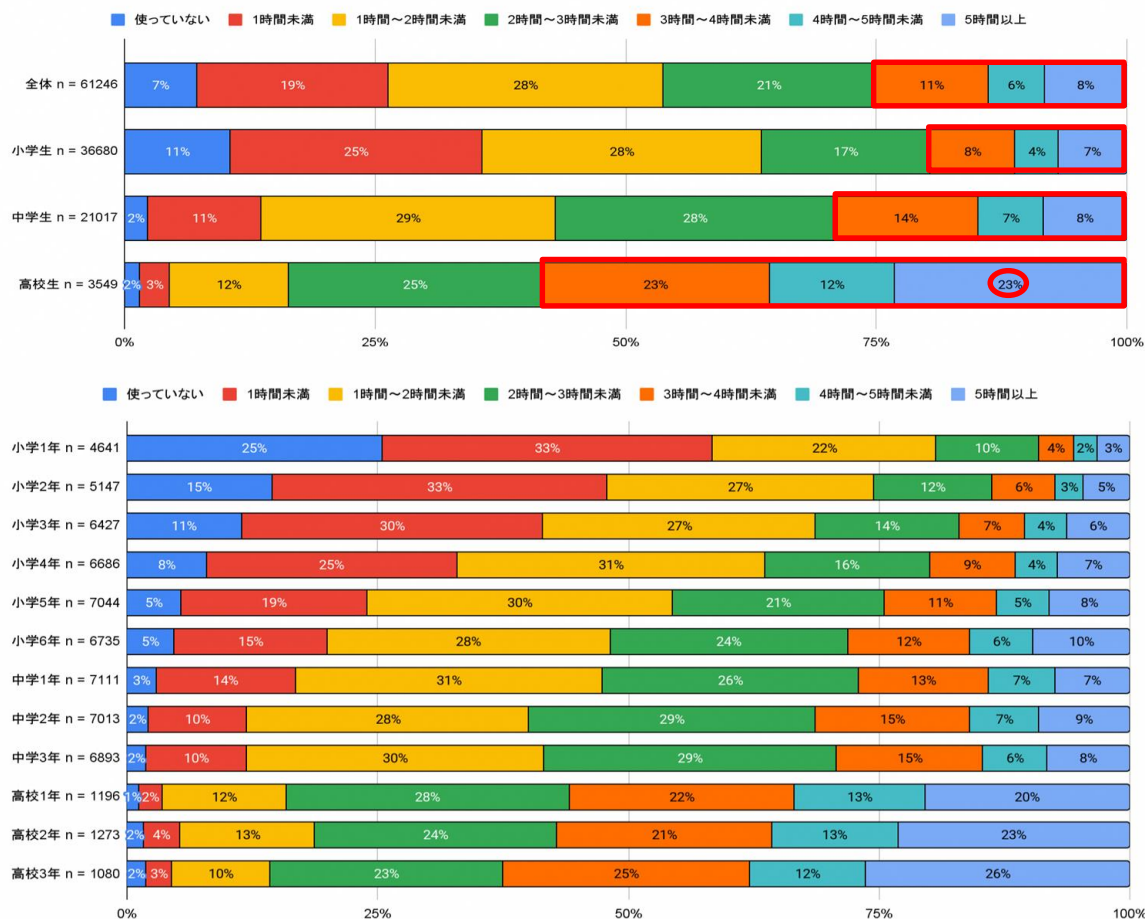
過去年度からの推移（全学年）



3. インターネットの利用状況（勉強以外での利用時間）

- 平日1日当たり、勉強以外で3時間以上利用しているこどもの割合は**25%**。
- 学校種別でみると、小学生の**19%**、中学生の**29%**、高校生の**58%**が3時間以上利用していると回答。
- 勉強以外での利用時間は、前年から増加しており、高校生の**23%**が5時間以上利用していると回答。

問3 あなたは、平日（土日祝を除いて）1日に平均して、勉強以外で、だいたいどのくらいの時間、インターネットを使いますか？（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）



令和5年度

	3時間以上の割合	5時間以上の割合
全体 n = 62701	24%	8%
小学生 n = 36847	18%	6%
中学生 n = 21989	27%	8%
高校生 n = 3865	54%	20%

令和6年度

	3時間以上の割合	5時間以上の割合
全体 n = 61246	25%	8%
小学生 n = 36680	19%	7%
中学生 n = 21017	29%	8%
高校生 n = 3549	58%	23%

4. インターネットの利用状況（勉強での利用時間）

- 平日1日当たり、勉強で3時間以上利用しているこどもの割合は**10%**。
- 学校種別でみると、小学生の**8%**、中学生の**11%**、高校生の**21%**が3時間以上利用していると回答。
- 全体の**28%**は、平日勉強でインターネットを利用していない。

問4 あなたは、平日（土日祝を除いて）1日に平均して、勉強で、だいたいどのくらいの時間、インターネットを使いますか？
（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）



令和5年度

	3時間以上の割合	5時間以上の割合
全体 n = 62701	9%	3%
小学生 n = 36847	7%	2%
中学生 n = 21989	11%	4%
高校生 n = 3865	20%	9%

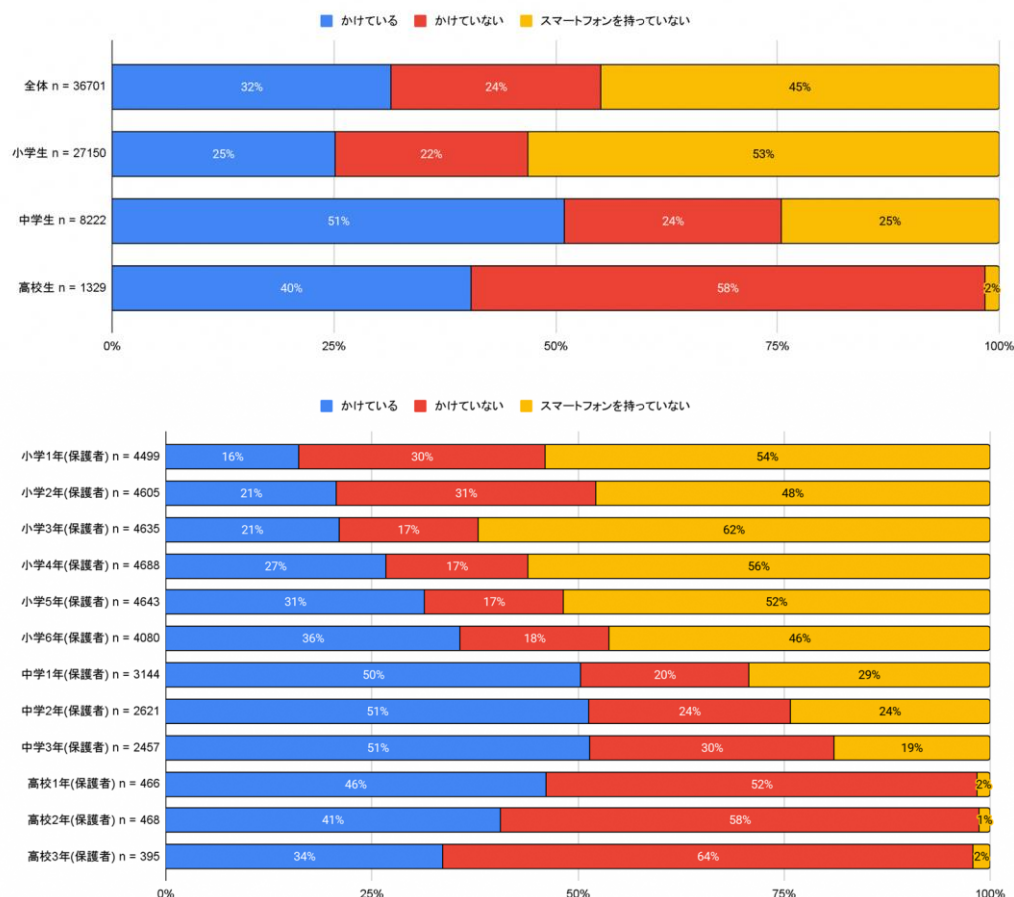
令和6年度

	3時間以上の割合	5時間以上の割合
全体 n = 61246	10%	4%
小学生 n = 36680	8%	3%
中学生 n = 21017	11%	4%
高校生 n = 3549	21%	10%

5. フィルタリングの利用状況（保護者回答）

- こどもが使うスマートフォンのフィルタリング利用率は**57%**で前年と変わらず。
- 学校種別でみると、小学生は**53%**、中学生は**68%**で増加傾向。しかし、高校生は**41%**で減少傾向。

問5 あなたのお子様が使っているスマートフォンにフィルタリングはかけていますか？



フィルタリング利用率（過去年度からの推移）

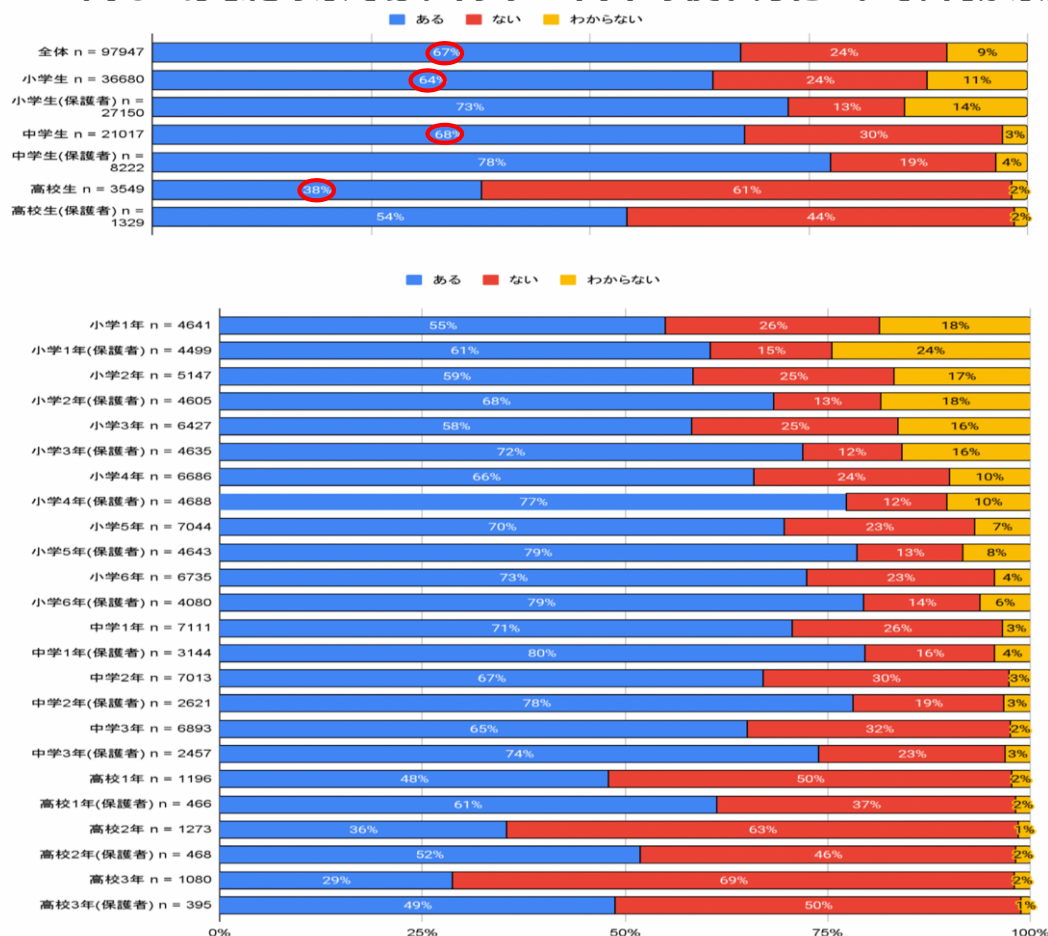


※「フィルタリング利用率」は、「スマートフォンをもっていない」との回答を除外して算出

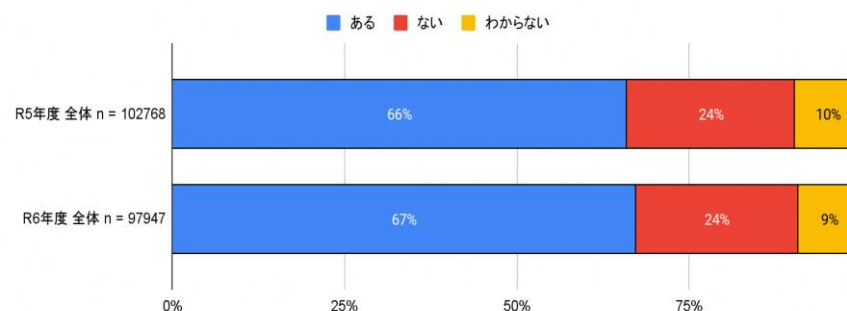
6. インターネットの利用に関する家庭のルールの有無

- 家庭内でインターネットの使い方についてルールを決めていると回答した割合は**67%**。
- 学校種別でみると、小学生の**64%**、中学生の**68%**、高校生の**38%**が「ルールがある」と回答。
- 学校種が上がるにつれて「ルールを決めていない」との回答が増え、子どもと保護者の「ルールの有無に関する認識のギャップ」も拡大傾向。

問6 あなたの家では、インターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか？



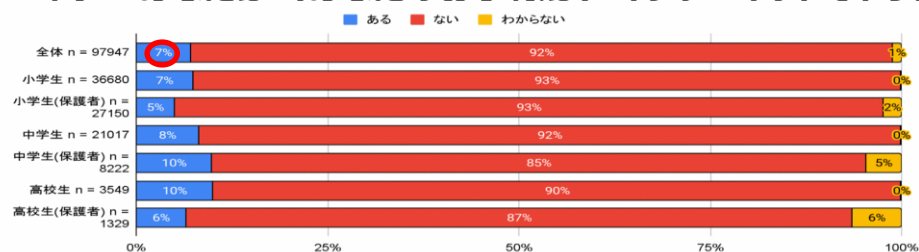
過去年度からの推移（全学年）



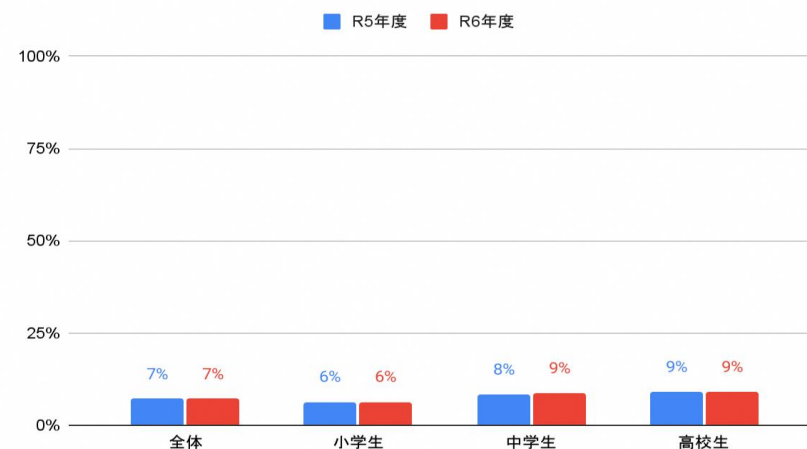
7. インターネットによるトラブルの有無

- インターネットによるトラブル（例：言葉などによるトラブル、インターネットで知り合った人とのトラブル、使いすぎによる健康への影響、ゲームへの課金などのトラブル）があると回答した児童生徒は**7%**。
- 前年と比べほぼ横ばい。

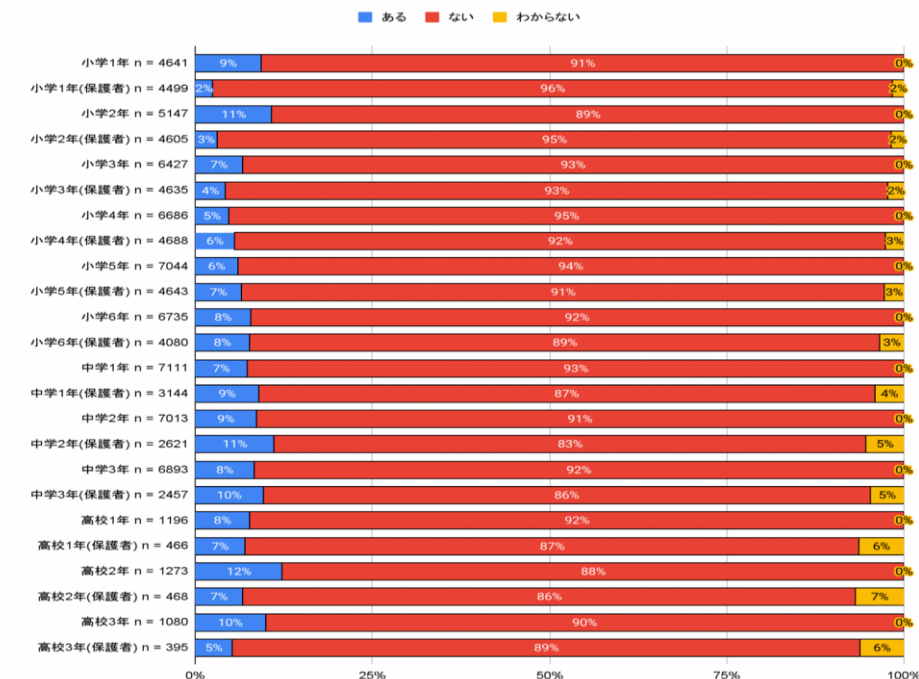
問7 あなたは（あなたのお子様は）インターネットでトラブルになったことがありますか？



トラブルがあると回答した人の割合（過去年度からの推移）



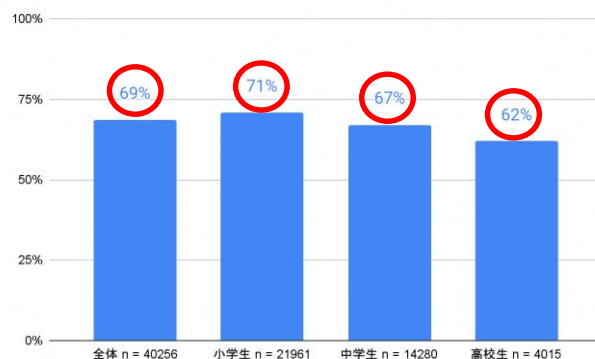
（割合は児童生徒・保護者の合算）



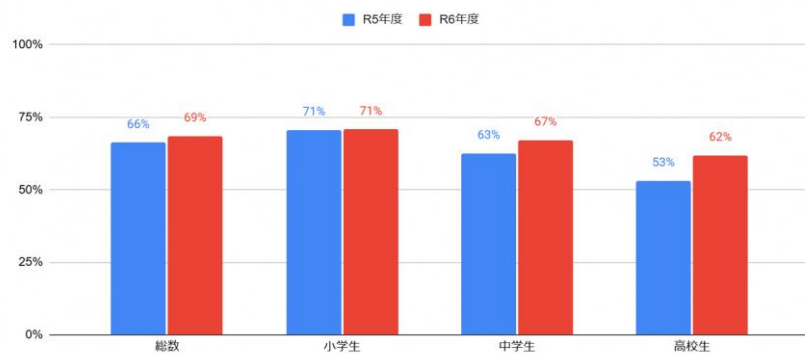
8. 診断問題平均正答率

- こどもの正答率は**69%**。前年から正答率がUPし、情報モラルの向上が認められる。
- 学校種別でみると、小学生が**71%**、中学生が**67%**、高校生が**62%**の正答率で特に高校生の正答率が向上した。

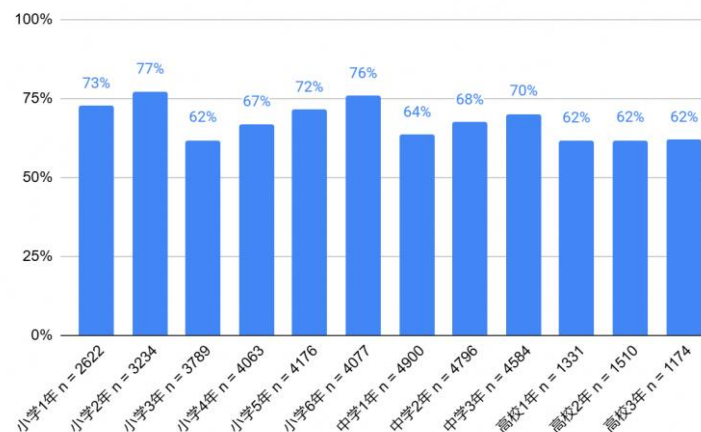
平均正答率（学校種別）



平均正答率（過去年度からの推移）



平均正答率（学年別）



9. 【参考資料】診断問題で正答率が低かった問題

小学1・2年 正答率：53%

[問題文]

ゲームのたいせんあいてから「こんにちは、わたしは小3の女子です。あなたも小学生ですか？」とメッセージがきました。どうするのがよいでしょうか？

[選択肢]

- ① 「わたしは小1（小2）です」ときかれたことにこたえる
- ② なにもこたえない
- ③ 「メッセージはおくらないでください」とこたえる

[答え]

②

知らない人からのメッセージには、こたえないようにしましょう。小3の女子とかかれていても、それはうそで、わるい大人かもしれません。ぜったいにじぶんの名まえやじゅうしょ、学校名、学年、クラスなどをおしえてはいけません。へんだな？とおもったらすぐに大人にそうだんしましょう。

小学3・4年 正答率：32%

[問題文]

インターネットで調べものをしているとよく出てくる、ウィキペディア（Wikipedia）についての説明で、まちがっているものを選びましょう。

[選択肢]

- ① だれでも無料で読めるインターネット百科事典
- ② 読者はだれでも記事をへん集できる
- ③ 日本語、英語、フランス語、中国語のみで作られている

[答え]

③

ウィキペディアは、インターネットを使った共同作業で、信らいてきる百科事典を作することを目的にしています。記事のへん集はだれでもできるため、自分のとく意なところをいかしてさまざまな人が書きこみをしています。参加者はほとんどがボランティアで、きふで運えいされています。2021年までに、300以上の言語で作成されています。

9. 【参考資料】診断問題で正答率が低かった問題

小学5・6年 正答率：31%

[問題文]

じょう談で店の口コミに「くさった商品ばかり売っている」と、ウソを書き込みました。このことについて、適切な考え方は次のうちどれでしょうか？すべて選びましょう。

[選択肢]

- ① 口コミは誰が書き込んだかわからないものである
- ② 事実かどうかは読む人が考えるべきである
- ③ 法律に違反することである
- ④ そもそも、ウソをつくのはよくないことである

[答え]

③④

口コミやSNSで店の信用を落とすと、「信用毀損（きそん）罪」「業務妨害（ぼうがい）罪」という罪になります。絶対にやめましょう。また、あなたの本名を出していなくても、調べればあなたが書いたことはわかってしまいます。

中学生 正答率：17%

[問題文]

「いきなりでごめんね。となりのクラスのAだけど、ちょっと直接会って相談したいことがあるんだけどいいかな...家の近くまで行くから住所教えてくれない？」というメールが送られてきました。この時の考え方として適切なものをすべて選びましょう。

[選択肢]

- ① 住所を教えて家まで来てもらう
- ② 学校でAさんに直接確認する
- ③ メールで理由を尋ねる
- ④ メールに返信しない

[答え]

②④

となりのクラスのAさんではなく、別人のなりすましメールの可能性があるので、住所を聞かれても簡単に教えてはいけません。メールやメッセージに違和感をおぼえたら、本当に本人からのものであるという確証が得られるまで返信をしてはいけません。また、たとえ住所だけであっても、住んでいる場所が特定されることで、郵便ポストを漁られたり、待ち伏せや尾行されたりするかもしれません。なりすましには十分注意しましょう。

9. 【参考資料】診断問題で正答率が低かった問題

高校生 正答率：18%

[問題文]

友達からSNSで「財布落とした。プリペイドカードを買って、そのカード番号を送信してほしい。お金は後で必ず返す」とメッセージが来ました。このときの対応として適切なものをすべて選びましょう。

[選択肢]

- ① 友達が困っているなので、すぐに言われた通りにする
- ② 本人に電話して詳細を確かめる
- ③ 大人や保護者に相談する
- ④ 消費生活センターや警察に相談する

[答え]

②③④

「プリペイドカードを買ってきて」は詐欺です。友達のSNSのアカウントが乗っ取られ、友達になりすました犯人が、そのSNS上の知り合いにウソのメッセージを送っているのです。プリペイドカードの番号を教えることは、犯人にお金を渡しているのと同じです。あわてずにしっかり確かめるようにしましょう。

保護者 正答率：18%

[問題文]

自分の子どもが友達と一緒に写っている運動会の写真をSNSにアップする場合で、適切なものをすべて選びましょう。

[選択肢]

- ① 写っている人全員の上承（未成年の場合は保護者の上承）が得られればしてもよい
- ② 子どもの写真はSNSに公開してはいけない
- ③ 個人が特定されなければアップしてもよい

[答え]

①③

SNSに人物の写真を公開する場合は、写っている人に、公開しても良いか上承を得ましょう。SNSにいったん公開してしまうと完全に消すことはできません（デジタルタトゥー）。自分の子どもであっても、内心では「他の人に見られたくない」と思っていることもありますし、他のお子さんであればSNSへの公開を拒否する保護者は少なからずいますので、慎重に行いましょう。他の方から上承が得られない場合は、その人の顔や体操服の名前やゼッケンが見えないようにぼかすなど、個人が特定されないようにして公開する配慮が必要です。